

## インターバンクの声（2017年5月11日）

先週の前半にドル円が112円台を回復した頃から、オプション市場では極端なドル高見通しが増え始めたようだ。市場のほとんどの金融担当者が目にする金融情報サービス会社の記事によれば、今週になってから、トレーダー達はドル高が続くとの見通しに少なくとも120億ドルの資金を投入したとのこと。

全てがヘッジ・ファンド勢の資金ではないかも知れないが、年初から早くも4か月が経過した今、名だたる米系ヘッジ・ファンドの猛者たちも引き続き収益の積み上げに苦戦しているとの噂も聞かれ、大きな勝負に打って出てきたとしても不思議ではない。ヘッジ・ファンド勢は長期のオプションを購入することは少ないことを割り引いておく必要はあるが、確かに6月のFOMCでの追加利上げ確率も80%台まで上昇しているし、かんばしくない米経済指標が一時は目立ったが、それも直近は好調な結果に戻っている。

3月の高値115円50銭をあっさり上抜けるようだと言った水準までドルの上昇が続くかも知れない。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。